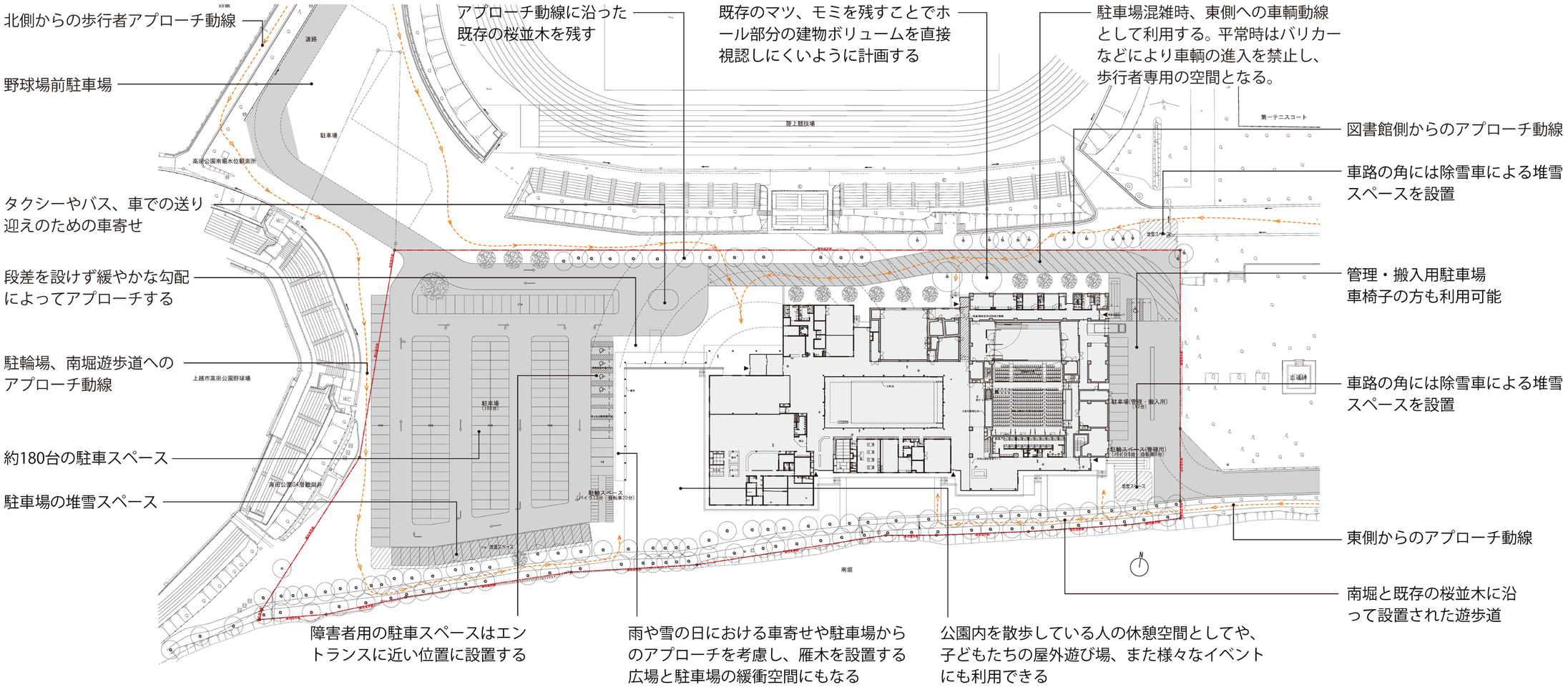
3 全体計画

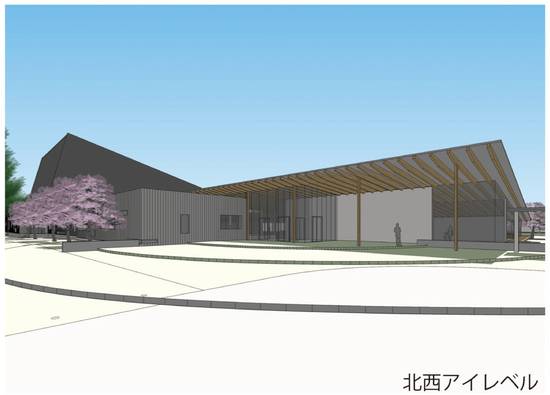
陸上競技場を西側から回り込むルートをメインアプローチとし、陸上競技場、野球場、本計画の間を駐車場や広場のような広がりのある空間で計画する。
外観上で大きなボリュームとなるホールは東側に配置し、西側のアプローチ空間への圧迫感を低減させる。
冬季や雨天時の利用者の利便性を図り、駐車場から建物の歩行者路に雁木を設ける。
駐車場と建物の間に屋外広場を設け、憩いの場、屋外遊び場、イベント時の活用などを図る。
敷地内の樹木は出来るだけ保存できるよう建物配置を工夫する。



外観イメージ

北西鳥瞰

南鳥瞰


北西アイレベル

北東アイレベル